

市長タウンミーティング企画

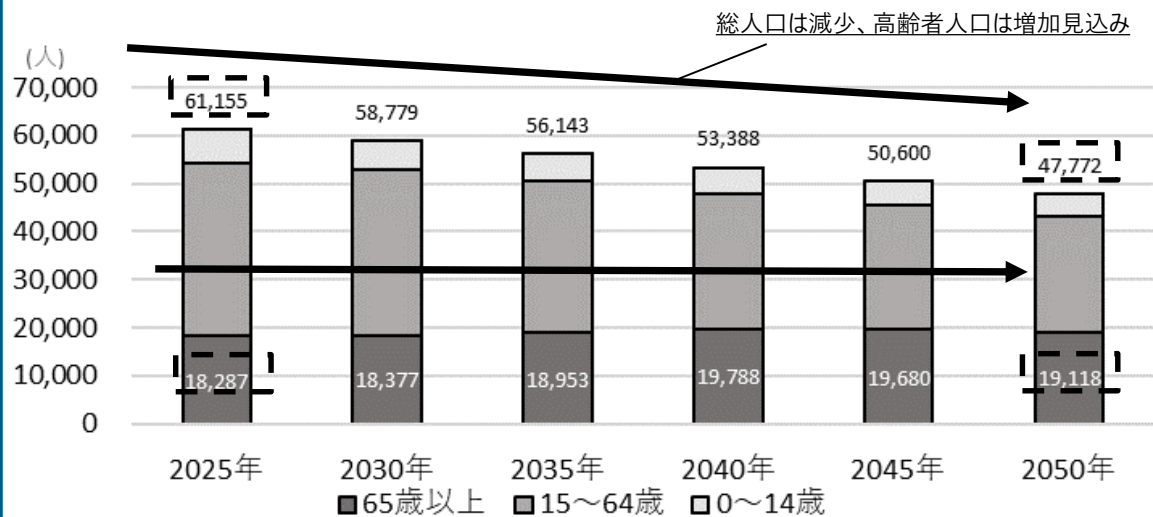
市民病院跡地の未来を考える！

まちデザインワークショップ

<参考資料>

藤井寺市の課題とあり方 <人口減少、少子化・高齢化への対応>

●本市の年代別将来人口推移



出所：令和5年国立社会保障・人口問題研究所推計

本市の総人口は、近年は減少傾向にあり、2025年から2030年までの間で6万人を割る見込みです。

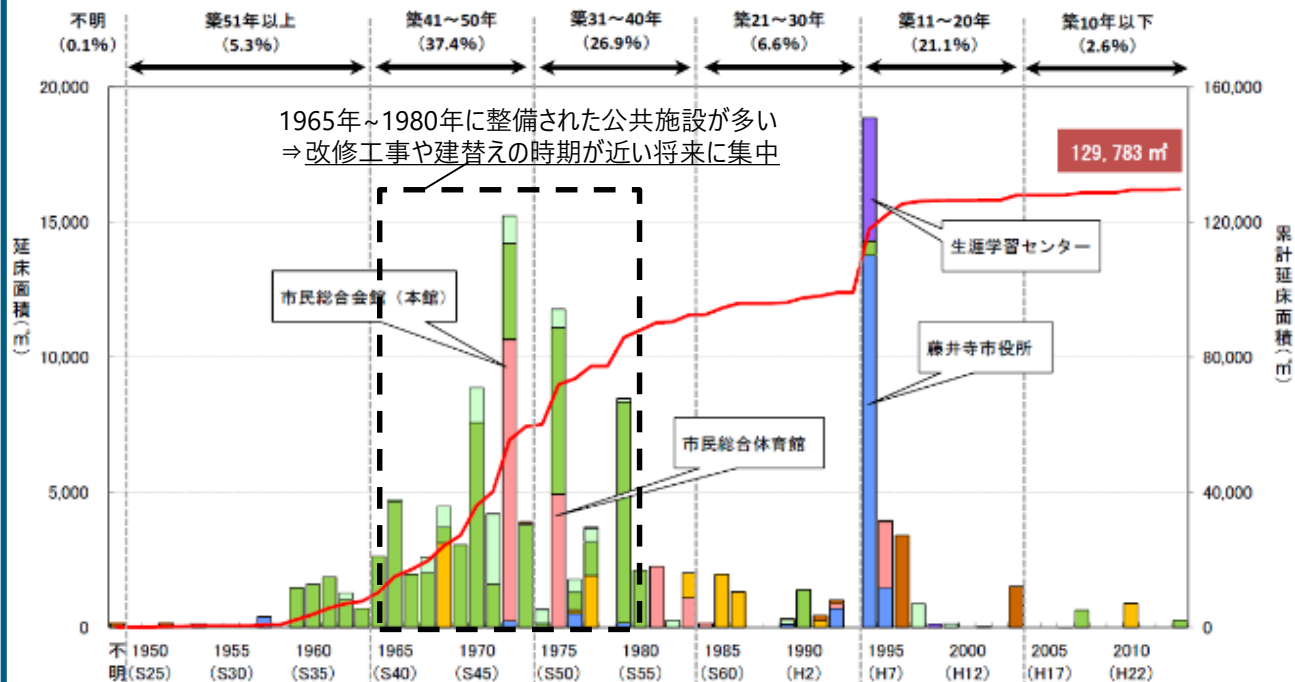
高齢者以外の人口（0～14歳、15～64歳）が減少する一方で、総人口に占める高齢者の割合は増加し続け、2050年には、およそ10人のうち4人が65歳以上となる見込みです。

<あり方>

- ・子育て支援などを充実し、若年層の定住促進を図る
- ・高齢者が安心して藤井寺市に住み続けられるような取組
- ・高齢者が積極的な社会参画を促すような取組 など

藤井寺市の課題とあり方 <公共施設の老朽化対応>

●整備年度ごとの公共施設延床面積



出所：藤井寺市公共施設等総合管理計画

全国的な問題となっている公共施設の老朽化が本市においても進んでいます。公共施設の多くは、経済成長や人口増加が著しかった昭和40～50年代に建てられており、現在、その多くの施設が老朽化し、大規模改修工事や建替えが必要な時期に差し掛かっています。

【凡例】

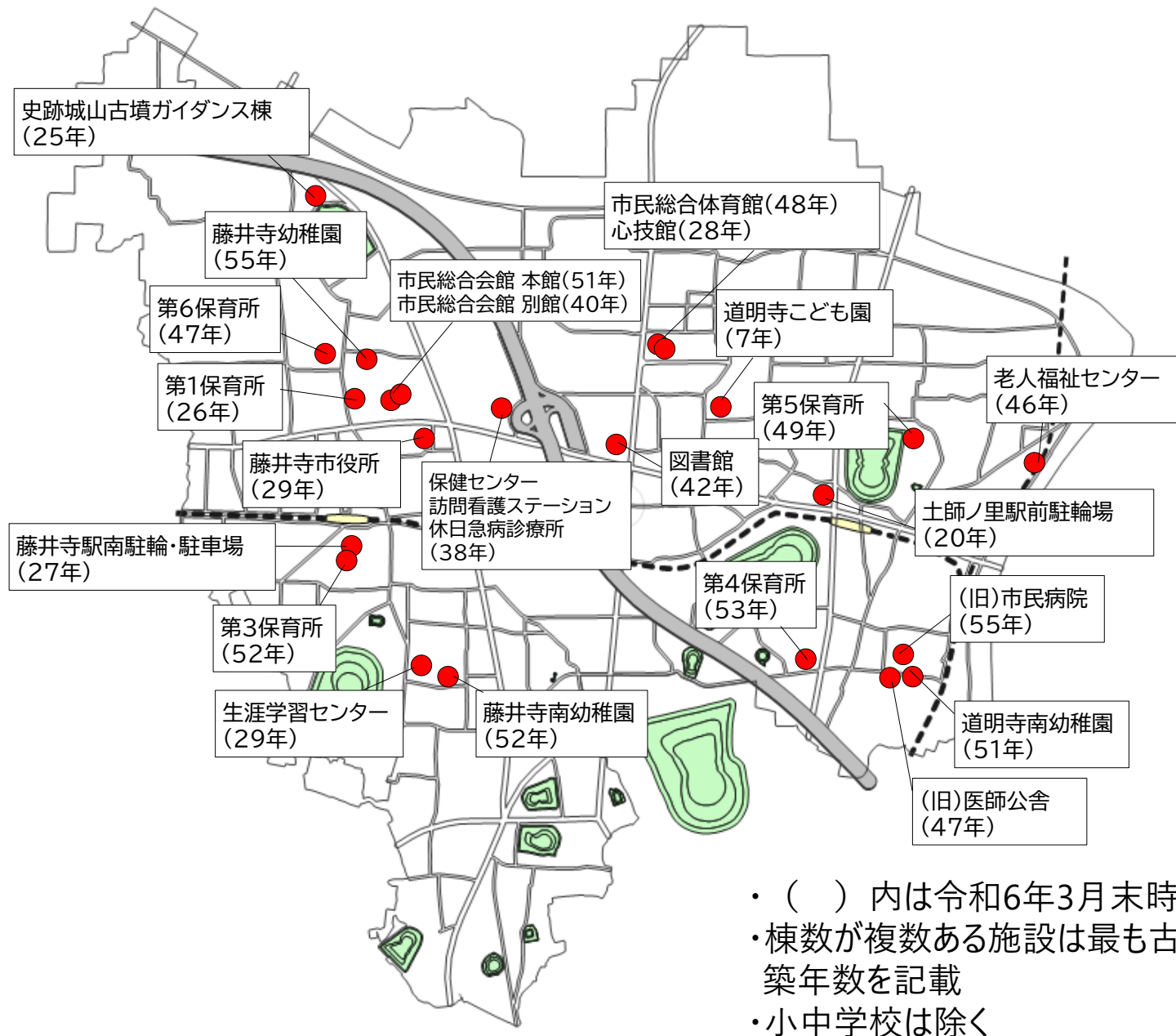
棒グラフ：整備年度ごとの公共施設延床面積 (m²)

実線：公共施設の累計延床面積 (m²)

<あり方>

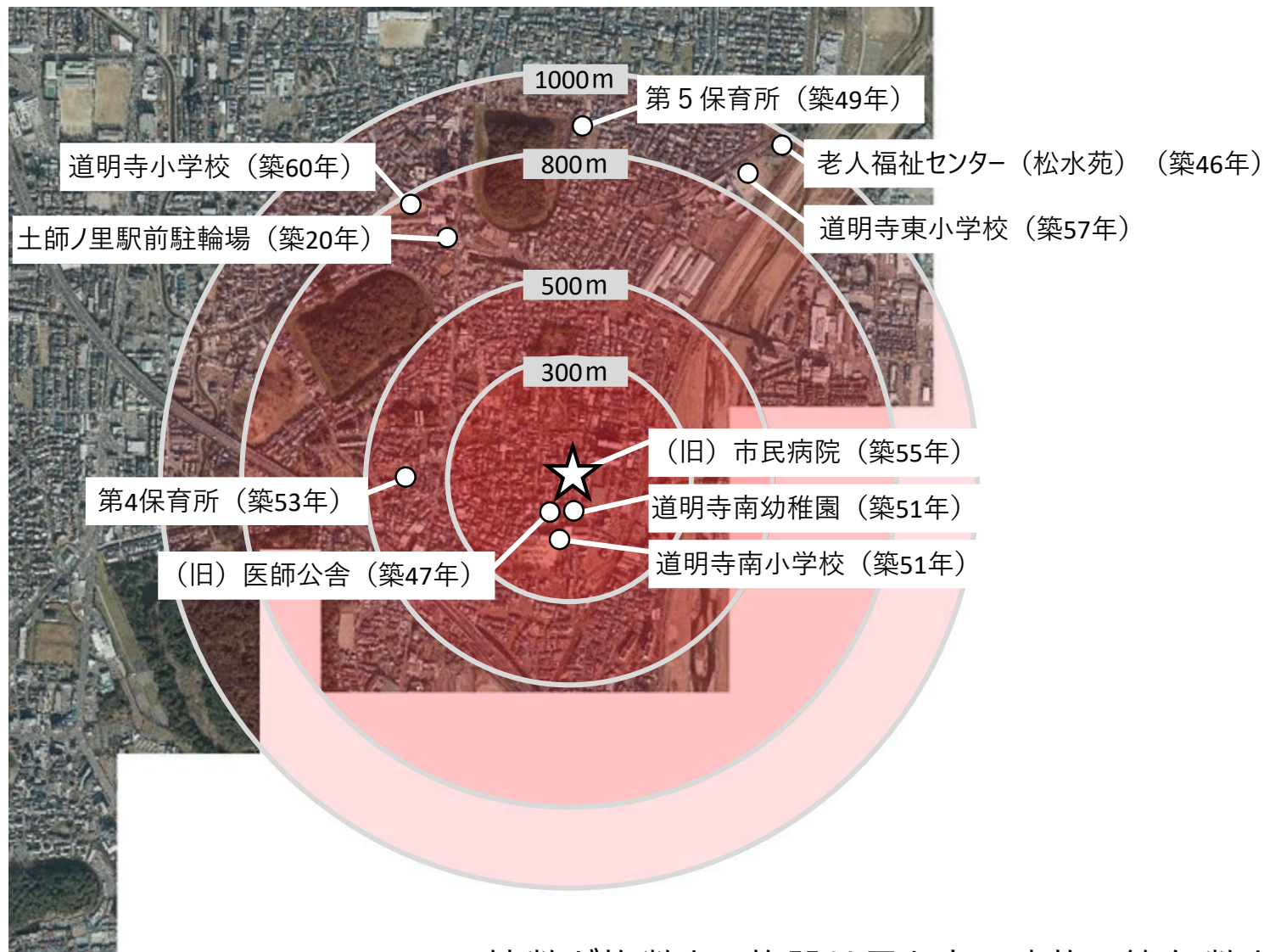
- ・財政負担の軽減・平準化を図りながら計画的な再整備
- ・施設の多機能化（集約化・複合化）や統廃合、用途転換による再整備で、施設の維持管理費を削減 など

(参考) 藤井寺市の公共施設 (市民サービスを提供している施設抜粋)



- ・ () 内は令和6年3月末時点築年数
- ・ 棟数が複数ある施設は最も古い建物の築年数を記載
- ・ 小中学校は除く

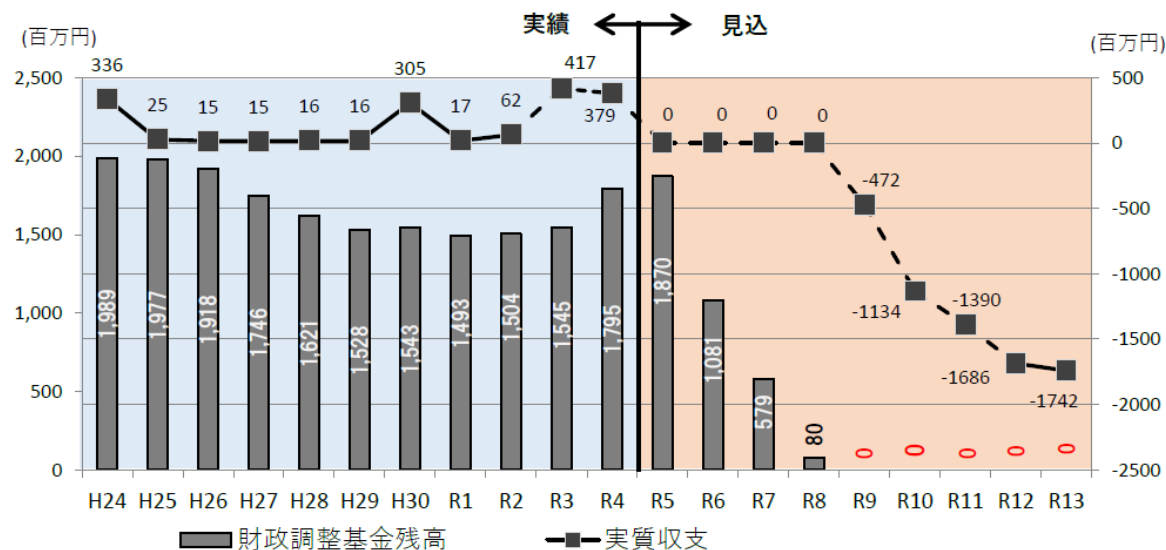
（参考）道明寺地区周辺の公共施設（市民サービスを提供している施設抜粋）



・棟数が複数ある施設は最も古い建物の築年数を記載

藤井寺市の課題とあり方 <財政負担の軽減>

●実質収支と財政調整基金残高の決算見込み推移（令和4年度決算ベース）



出所：ふじいでらしの「家計簿」令和4年度決算

本市の財政状況は、令和4年度決算ベースでは黒字を維持しておりますが、今後は財政調整基金（＝貯金）を毎年度切り崩す見込みとなっており、今まで以上に厳しい財政状況になると考えられます。

<あり方>

・積極的な国の支援（補助金等）を獲得

- 補助金メニュー例：都市構造再編集中支援事業（都市機能集約の際に施設建設関係費に活用可能）
- その他メニュー例：公共施設等適正管理推進事業債（施設建設の際に活用できる借入メニューで、地方交付税措置を受けられるメニューもある）

・民間の力を活用したサービスの提供・充実 など